

### 第3章 健康づくり

保健サービス課

#### 1 成人保健

年齢、心身の状況に応じて健康教育、健康診査等の保健事業を総合的に実施し、生活習慣病等の予防、早期発見、早期治療を図るとともに、自分自身の健康に対する自覚を高め老後の健康と適切な医療を確保する目的で、区では次のような保健事業を実施している。

##### (1)健康手帳の交付

健康手帳は特定健康診査(総合健康診査)・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療に資することを目的とする。

平成21年度～令和3年度は、40歳の方に郵送により交付していたが、令和4年度から健康手帳のデータのダウンロード方式に切り替え、希望者に窓口・郵送交付をしている。

(単位:件)

年度 \ 区分	交付総数
30	3,494
元	3,412
2	3,289
3	3,345
4	15

##### (2)区民健診(循環器健診等)

健診機会のない40歳未満の区民を対象に、結核・生活習慣病の早期発見と予防を目的として健診を実施している。

(単位:人)

区分 \ 年度	検査件数						
	実人数	血圧測定	尿検査	血液検査	心電図	C型肝炎検査	B型肝炎検査
30	372	372	372	372	282	171	170
元	390	390	390	390	304	184	183
2	333	333	333	333	260	134	134
3	462	461	459	460	385	211	211
4	478	478	478	478	398	196	196

### (3) 総合健康診査

平成20年度から高齢者の医療の確保に関する法律等に基づいて40歳以上の者に健康診査を実施している。平成19年度までの基本健康診査と同じ健診内容とするため独自に上乘せ項目を追加して「総合健康診査」として、地区医師会に委託して協力医療機関で実施している。

区分		年度				
		30	元	2	3	4
国民健康保険	対象者(人)	33,920	32,971	32,264	31,675	30,441
	受診者(人)	13,919	13,451	12,439	13,304	12,250
	受診率(%)	41.0	40.8	38.6	42.0	40.2
後期高齢者医療制度	対象者(人)	21,242	21,712	21,779	21,560	22,214
	受診者(人)	11,142	11,167	10,615	10,922	10,664
	受診率(%)	52.5	51.4	48.7	50.7	48.0
生活保護受給者等	対象者(人)	6,011	5,788	5,756	5,603	5,442
	受診者(人)	1,566	1,615	1,423	1,350	1,327
	受診率(%)	26.1	27.9	24.7	24.1	24.3
計	対象者(人)	61,173	60,471	59,799	58,838	58,097
	受診者(人)	26,627	26,233	24,477	25,576	24,241
	受診率(%)	43.5	43.4	40.9	43.5	41.7

区分		年度				
		30	元	2	3	4
社会保険等加入者 (上乘せ健診)	対象者(人)	56,107	58,315	60,594	61,688	62,834
	受診者(人)	1,977	1,873	1,798	1,842	1,833

### (4) 糖尿病対策

糖尿病の発症予防・重症化予防のために、地域関係団体と「糖尿病対策地域連携委員会」を設置し、糖尿病に係る地域連携を推進することで糖尿病対策を効果的に推進する。

#### ア 糖尿病対策地域連携委員会 年1回

実施日：令和4年8月3日(水) ※書面開催

#### イ 糖尿病予防キャンペーン

##### ① 糖尿病に関する展示、資料配布

場所：【8月】リバーサイドスポーツセンター(スポーツの祭典 パラリンピック編)

【11月】台東保健所・区役所地下食堂

##### ② ベジメータ(野菜摂取状況測定機器)、糖尿病に関する展示、資料配布

場所：リバーサイドスポーツセンター(10月 スポーツの祭典 オリンピック編)

ウ 糖尿病予防教室

実施日：①令和4年11月17日(木) ②令和5年2月2日(木)

参加者：①7人 ②9人

(5) 胃がん検診

胃がんの早期発見、早期治療を目的として区民(50歳以上で年度内に偶数年齢になる方を対象)に検診チケットを送付し、隔年受診を実施している。

(単位：人)

区分 年度	受診者数	受診率 (%)	検診結果				がん発見者数 (疑い含む)
			異常なし	要精密	要経過観察 要治療	判定不能	
30	3,915	5.8	3,195	162	558	0	0

区分 年度	受診者数		受診率 (%)	異常なし		要精密者		要経過観察 要治療		がん発見 者数 (疑い含む)
	X線	内視鏡		X線	内視鏡	X線	内視鏡	X線	内視鏡	
元	3,565	2,279	8.5	2,874	1,703	170	398	521	178	37
2	902	5,898	26.3	684	5,004	81	565	137	329	63
3	796	5,044	22.8	615	4,687	51	357	130	0	67
4	994	4,819	26.1	785	4,486	67	333	142	0	61

※平成30年度までは、X線検査を40歳以上の区民を対象として実施。

※令和元年度10月より検査方法に内視鏡検査を追加。

※令和元年度内視鏡検査対象者は、令和2年4月の緊急事態宣言発出に伴い、受診期限を令和2年度末まで延長。

※令和2年度より、内視鏡・X線(バリウム)検査共に検診チケット制・50歳以上で年度内に偶数年齢になる区民を対象として隔年受診を実施。

※令和3年度より、内視鏡検査受診票の検診結果欄「要治療/要経過観察」の選択肢の廃止。「要治療/経過観察」の場合、医師の細かい所見や治療方針を記載できる欄を受診票へ新設。

### (6) 大腸がん検診

大腸がんの早期発見、早期治療を目的として区民(40歳以上)を対象に実施している。(単位:人)

区分 年度	受診者数	受診率 (%)	検 診 結 果					がん発見 者数 (疑い含む)
			異常なし	要精密	受診勧奨	要経過 観察	検体不備	
30	19,975	27.7	17,956	1,427	592	0	0	31
元	19,675	27.0	17,612	1,532	531	0	0	32
2	17,945	27.4	16,095	1,306	544	0	0	20
3	19,025	28.8	17,054	1,375	596	0	0	50
4	17,951	27.1	16,141	1,253	557	0	0	27

### (7) 子宮頸がん検診

子宮頸がんの早期発見、早期治療を目的として、女性区民(20歳以上で年度内に偶数年齢になる方を対象)に検診用チケットを送付し、隔年受診を実施している。

(単位:人)

区分 年度	受診者数	受診率 (%)	検 診 結 果			がん発見者数 (疑い含む)
			異常なし	要精密	判定不能	
30	7,763	27.6	7,553	210	0	8
元	7,789	27.3	7,587	202	0	9
2	7,912	31.4	7,656	256	0	14
3	8,662	33.2	8,407	255	0	16
4	8,590	34.3	8,362	228	0	12

### (8) 乳がん検診

乳がんの早期発見、早期治療を目的として、マンモグラフィによる検診を女性区民(40歳以上で年度内に偶数年齢になる方を対象)に検診用チケットを送付し、隔年受診を実施している。

(単位:人)

区分 年度	受診者数	受診率 (%)	検 診 結 果			がん発見者数 (疑い含む)
			異常なし	要精密	要経過 観察等	
30	6,378	33.1	4,558	313	1,507	18
元	6,358	33.1	4,561	325	1,472	21
2	6,156	36.3	4,370	477	1,309	28
3	6,707	36.5	4,676	484	1,547	32
4	6,701	37.9	4,609	476	1,616	33

(9) 肺がん検診

肺がんの早期発見・早期治療を目的として区民（40歳以上）で検診を希望する者を対象に実施している。

(単位：人)

区分 年度	受診者数		受診率 (%)	異常なし		要精密者		要経過観察		がん発見 者数 (疑い含む)
	X線	喀痰		X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	
30	5,003	115	6.6	3,909	115	108	0	986	0	0
元	5,126	119	6.7	3,927	119	101	0	1,098	0	8
2	3,765	155	5.8	2,955	155	68	0	742	0	3
3	4,392	179	6.7	3,589	179	96	0	707	0	12
4	4,520	176	6.9	3,489	176	206	0	825	0	10

(10) がん検診受診率向上対策

がんの早期発見・早期治療および死亡率減少に向けて、がん検診対象者に対して受診勧奨・再勧奨の通知を送付している。

(単位：件)

区分 年度	勧奨通知					再勧奨通知			
	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
30	117,280	117,280	117,280	42,631	42,631	3,593	10,794	10,794	10,794
元	118,786	118,786	118,786	43,547	43,547	3,380	10,460	10,460	10,460
2	43,881	120,393	120,393	44,097	44,097	3,423	11,420	11,420	11,420
3	45,497	120,526	120,526	44,420	44,420	3,549	9,384	9,384	9,384
4	45,066	120,931	120,931	44,655	44,655	3,655	10,602	10,602	10,602

### (11) 耳鼻科検診

平成19年度から、「耳鼻科検診」として実施。健康診查のなかで問診により聴取した「声のかすれ・のどに異物感」がある者のうち、50歳以上の者又はブリンクマン指数600以上の者に実施する。

ブリンクマン指数：1日当りの平均喫煙量(本数)×喫煙年数

(単位：人)

区分 年度	受診者数	検診結果				がん発見者数 (疑い含む)
		異常なし	所見あり			
			要精検	精検不要	その他	
30	529	422	16	91	0	0
元	503	415	14	74	0	0
2	309	237	13	57	2	0
3	302	256	7	39	0	0
4	265	223	7	35	0	0

### (12) 小規模事業所健診

台東区内の小規模事業所従事者を対象として、疾病の予防、結核・生活習慣病の早期発見を目的に実施している。

(単位：人)

区分 年度	事業所数	実人員	胸部X線	尿検査	血液検査	心電図	聴力検査
30	119	289	289	289	289	289	289
元	114	282	282	282	282	282	282
2	89	195	195	195	195	195	195
3	100	231	231	231	231	231	231
4	95	234	230	234	234	234	234

### (13) 耳の健康相談

3月3日の「耳の日」における事業の一環として、区民の耳の健康増進をはかるために「耳の講演会」を実施している。

○令和4年度耳の講演会

実施年月日：令和5年3月10日

開催場所：台東区役所10階 1003会議室

参加人数：34人

また、日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会の主催事業として、区の後援による耳・鼻・のどの健康相談を実施している。

#### (14) 緑内障検診

60歳の区民を対象に、高齢者の視力低下や失明の大きな原因である緑内障等の早期発見・早期治療を目的に実施している。

実施年月：5月1日～3月31日

実施場所：区内協力医療機関

(単位：人)

区分 年度	受診者数	総合判定			
		所見なし	経過観察	要精査	治療中
30	479	313	7	156	3
元	488	334	7	144	3
2	488	318	3	165	2
3	568	393	5	169	1
4	574	377	7	188	2

#### (15) がん患者ウィッグ購入費等助成

がん患者が療養生活を送る上で生じる課題を乗り越えることを支援し、がんを克服し生きる意欲の向上を図ることを目的とし、外見の変化を補うためのウィッグや胸部補整具等を購入又はレンタルした際の経費の一部を助成している。

対象経費：次の(1)及び(2)の購入又はレンタルに係る経費

(1)ウィッグ (ウィッグの装着時に必要なネットを含む。)

(2)胸部補整具 (補整下着、補整用シリコンパッド、人口ニップル等)

助成額：購入経費等の2分の1に相当する額(100円未満切り捨て)と上限額30,000円のいずれか少ない方の額。ただし、過去に助成を受けた者の上限額は、30,000円の上限額から受けた助成額を差し引いた額。

事業実績 (単位：件)

年度	4
助成件数	79

※令和4年度事業開始。

## 2 生きいき健康づくり事業

区民が健康で生きいきと暮らしていくためには、生涯を通じての自主的な健康づくりが大切である。区では、いち早く区民と区が一体となって健康づくりを推進するため、平成5年に、「健康都市宣言」を、つづいて13年度には「生涯健康宣言」を宣言した。また、平成19年には、全ての区民が住み慣れた地域でいきいきとその人らしく暮らしていくことができるよう「自助」「公助」そして、「共助」（地域社会全体で支え合うこと）の考えをふまえた『たいとう健康都市宣言』を行うなど、区をあげて健康づくり施策に取り組んできたところである。

### (1) 啓発推進事業

#### 生きいき健康づくり健康推進委員事業

地域における住民の自主的な活動を促すことにより、区民が自らの健康の保持と増進を図り、地域での保健衛生思想の普及と、地域での健康づくりを推進することを目的とし、平成3年度から一部地域をモデル事業として開始し、平成9年度からは、区内全域に拡大し、活動内容を充実させている。

令和4年度活動内容

健康推進委員	全地区172名（令和4年4月1日現在）		
地区連絡会	81回	延参加者数	940名
リーダー連絡会	5回	延参加者数	54名
健康学習会	25回	健康推進委員	延参加者数 289名
		一般区民	延参加者数 591名
地域行事への参加	2回	健康推進委員	延参加者数 15名
		一般区民	延参加者数 175名
ウォーキングリーダー養成講座	4回	延参加者数	55名
委嘱状交付式	任期途中のため開催なし		
活動発表会	※中止		

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、健康推進委員の活動は再開できたものの、各地区で発表する活動内容が少ないこと等を勘案し、活動発表会は中止。（活動報告集を合併号（令和元・2・3・4年度）として発行）

#### ◆用語説明

地区連絡会：健康推進委員と保健所職員等との連絡・調整や健康学習会の企画・地域行事への参加などについての打合せ

リーダー連絡会：保健所との連携、各地区の情報交換を目的とした会議  
活動単位ごとのリーダー11名が出席

健康学習会：健康推進委員主催で区民を対象に開催した講習・講演会等  
地域行事への参加：健康推進委員が地域で行われる行事に参加したもの

委嘱状交付式：健康推進委員に委嘱状を交付する

活動発表会：2年間の任期中の活動内容を全体に報告するもの



## (2) 健康まつり

健康に対する区民の関心を高め、一生涯を通じて健康にいきいきと生活していくことを目指し、健康づくりや保健衛生についてのさまざまな情報を提供し、区民の健康の保持・増進を図る。また区民と協働して事業展開することで、地域と行政が一体となって支え合うしくみづくりを推進する。

区内7地域ごとに区民をメンバーとした地域座談会で地域の健康課題を話し合い、地域に応じた課題解決及び健康な地域づくりを目的とした「いきいき健康まつり」を開催する。

内 容	実施回数	参加者数
いきいき健康まつり	一回	一人
地域座談会（参加団体数：27 団体）	7 回	108 人
地域づくり交流会	1 回	67 人
合 計	8 回	175 人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、令和4年度はいきいき健康まつりは中止。

## (3) 健康学習

区民が生涯を通じて生きいきと豊かな生活を送る基盤は健康である。『自分の健康は自分で守り、つくる』という考えを基本として、知識の普及や生活習慣病予防、健康づくりや育児支援等さまざまな目的をもって健康学習を実施している。

	テ ー マ 名	回数	参加者数 (人)	主 な 内 容
母子 保健	歯と口に関すること	36	617	保育園児を対象とした健康学習と歯みがき指導など
	保健に関すること	1 2	6 -	幼児のトイレトレーニング 動画配信（赤ちゃんの眠りの悩み）
	母子合計	39	623	
成人 保健	歯と口に関すること	3	43	高齢者を対象としたオーラルフレイル予防講座など
	保健に関すること	3	37	熱中症予防、感染予防対策の講座など
	成人合計	6	80	
	区民のための健康教室	1	22	歯科医師による講演会（講演「歯を悪くする意外な原因」）
	合 計	46	725	

#### (4) 健康総合相談

高齢化の急速な進展、少子化、疾病構造の変化等に伴い、区民の保健事業に対する要望も多様化、高度化している。これらに対応するために、区民に総合的な個別総合相談事業を実施している。

##### ア 家庭訪問、相談実績

(単位：件)

区 分	総合計	個別訪問健康相談	所内面接・電話相談・文書連絡等	関係機関連絡
総 数(延人員)	25,299	2,207	14,826	8,266
台 東	11,263	1,150	6,467	3,646
浅 草	14,036	1,057	8,359	4,620

※個別訪問健康相談・所内面接・電話相談・文書連絡・関係機関連絡は、P144の(イ)a 家庭訪問等の件数の内数

##### イ その他相談

ウクライナ避難民対象の健康相談 9世帯 14名

##### ウ 保健師事例検討会・勉強会

実施日	テ ー マ	講 師	参加者数(人)
7月25日	行政としてのジェンダーを踏まえた区民へのかかわり方 (Zoom開催)	男女平等推進プラザ 石井 弘美氏	19
10月25日	健康になってしまいうまちづくりのヒント	東京医科歯科大学国際健康推進医学 非常勤講師 長峯 由衣子氏	23
1月31日	保健師記録の勉強会	東京女子医科大学 教授 清水 洋子氏	30
2月27日	神経難病患者に必要な支援	日本 ALS 協会 東京都支部事務局 長 青島 良浩氏	17
12月21日	困難事例検討会	Mieli 法律事務所 弁護士 山田 恵太氏	9
2月13日	困難事例検討会	Mieli 法律事務所 弁護士 山田 恵太氏	8

##### エ 健康増進普及月間キャンペーン

生活習慣病の特性や運動・食事・禁煙など個人の生活習慣の改善の重要性に

ついて区民の理解を深め、健康づくりの実践を促進するため普及啓発を行う。

令和4年9月実施 生涯学習センター他4か所でパネル展示実施。

1,157人來場

オ 台東区保健師人材育成委員会

		実施回数	
保健師人材育成委員会		1	
部会	保健師係長部会	6	
	研修企画検討部会	3	うち書面開催1回
	新人保健師指導者連絡部会	4	うち新人交流会1回
研修	保健師人材育成企画研修	2	・保健師の地区活動について(4グループ) ・研修報告会

### (5) タバコ対策

喫煙率と将来的な喫煙者の減少により、区民のタバコ関連疾患罹患率と死亡率の減少を目指して、タバコに関する正しい知識の普及・啓発活動を実施している。

実施日	テーマ	内容	参加者数(人)
5月20日 ～ 6月30日	禁煙週間 キャンペーン	喫煙のメカニズム、受動喫煙の健康への影響、禁煙のメリット等について展示と資料配布により啓発。 広報・ホームページによる周知。	1,267
11月14日 ～ 11月30日	COPD キャンペーン	COPD[疾患]の症状や原因(喫煙との関係)、発症時の受診勧奨等について展示と資料配布により啓発。 広報・ホームページによる周知。	334

実施日	内容	対象	合計参加者数
① 6月16日 ② 10月4日 ③ 10月24日 ④ 12月9日 ⑤ 12月19日 ⑥ 1月13日	喫煙防止教育 (講座)の実施	① 忍岡中学校 3年生 61名 ② 富士小学校 6年生 56名 ③ 千束小学校 6年生 52名 ④ 田原小学校 6年生 62名 ⑤ 金竜小学校 6年生 85名 ⑤ 駒形中学校 2年生 92名	児童・生徒 408名

### 3 母子保健

母子保健法及び児童福祉法等に基づき、妊産婦及び乳幼児への保健指導、健康診査、母子訪問指導等を実施している他、未熟児養育医療や妊娠高血圧症候群等の医療給付等各種事業を実施し、母性及び乳幼児の健康の保持、増進を図る。

#### (1) 妊娠の届出数と妊婦健康診査

##### ア 妊娠届

浅草保健相談センター、保健所、区役所（戸籍住民サービス課）、区民事務所（分室含む）で受理し、母子健康手帳と母と子の保健バッグを交付している。

（単位：件）

区分	届出数	妊 娠 週 数					
		満 11 週以内	12～19 週	20～27 週	28 週以上	分娩後	不 詳
総 数	1,778	1,712	50	11	4	1	0
浅 草	1,079	1,039	28	9	3	0	0
台 東	699	673	22	2	1	1	0

##### イ 妊婦健康診査

##### (ア) 妊婦健康診査・妊婦超音波検査・妊婦子宮頸がん検診

妊娠届を提出した妊婦に対して、妊娠中の健康管理と流産・早産の防止、児の障害の予防を目的として、14回分の受診票を交付し、委託医療機関で受診する。また、妊婦超音波検査受診票を交付し、胎児の発育異常や胎盤の付着部位の異常等の検査を実施しており、平成30年度よりこれまでの1回に加え、さらに1回分を追加している。さらに、妊婦子宮頸がん検診受診票1回分を交付し、母体の健康管理を図っている。

（単位：件）

受診数	内 訳			
	1 回目	2～14 回目(延数)	超音波検査	子宮頸がん検診
総 数	1,663	16,290	2,716	1,592
浅 草	982	8,552	1,512	938
台 東	668	6,437	1,102	646
※転出	13	1,301	102	8

※転出は、妊娠届出時台東区に居住していた妊婦が、都内他区市町村に転出した場合の受診。

※数値には、契約医療機関受診分その他、自由診療受診分を含む。

(イ) 里帰り出産等妊婦健康診査費助成

里帰り先や助産所での受診等、区が交付した妊婦健康診査受診票や超音波検査受診票、子宮頸がん検診受診票を利用せずに自費で健診を受けた妊婦に健診費の助成を行う。

助成件数	内 訳 (延数)			
	1 回目	2 回目～1 4 回目	超音波検査	子宮頸がん検診
333	34	1,669	79	18

(ウ) 新生児聴覚検査 ※令和元年度から実施

妊娠届を提出した妊婦に対して、産まれてくる新生児の聴覚障害の早期発見・早期療育を図ることを目的として、受診票を交付する。また区が交付した受診票を利用せずに自費で検査を受けた場合に、検査費の助成を行う。

区分	受診数・助成件数
総 数	1,312
浅 草	535
台 東	412
※転出	138
助 成	227

※転出は、妊娠届出時台東区に居住していた妊婦が、都内他区市町村に転出した場合の受診。

(2) ハローベビー学級

妊娠・出産・育児等についての知識及び沐浴・抱き方等の技術の習得や仲間づくりを目的に、妊婦とそのパートナーを対象として実施している。

区 分	平日学級	土曜学級	日曜・祝日学級	合計
	1 日制	1 日制	1 日制	
開催回数	4	20	22	46
延受講者数 (人)	71	457	513	1,041

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～7月まで事業中止。

※平成30年度よりすべての学級を委託した。

※平成29年度よりすべての学級を1日制とした。

(3) ゆりかご・たいとう

妊娠中の不安を軽減し、安心して出産・子育てできるよう、保健師等が妊婦と面接し、各家庭の状況に応じた支援を行っている。また妊娠届出時の面接の際育児パッケージ及び、国の出産応援ギフトを交付している。

実施場所	面接数 (人)	育児パッケージ配布数 (件)
浅草保健相談センター	584	597
台東保健所	936	942
その他 (訪問・オンライン等)	19	19
総 数	1,539	1,558

#### (4) 産後ケア

出産後、家族等から援助が受けられず、心身不調・育児不安が認められる産後4か月未満または1年未満の母子に対し、産科医療機関や助産院で心身のケアやサポート及び乳房ケアを行い、安心して子育てできる支援体制の確保とともに、サービス利用料の一部を区が負担する。

区分	宿泊型	日帰り型	外来型 乳房ケア	訪問型 乳房ケア
利用者数(人)	115	18	253	116
延利用日(回)数	606	29	668	302

#### (5) 産前産後支援ヘルパー

妊産婦・乳児を介助する人がいない家庭や保護者の養育を支援することが特に必要な家庭に対して、必要に応じてヘルパーなどを派遣し、家事や育児の援助や助言・相談を行っている。

区分	一般世帯	多胎世帯
利用世帯数(世帯)	235	24
延利用時間数(時間)	6,048	1,225

#### (6) 乳児健康診査

##### ア 3～4か月児健康診査

乳児に対する健康診査及びその保護者に適切な保健指導を実施し、乳児の健全な育成を図る。また、精密健診の必要のある者については、精密健診受診票を交付している。

実施内容：問診・身体測定・診察・個別保健指導・集団（保健、栄養）指導

(ア) 3～4か月児健康診査受診状況 (単位：件)

区分	対象者数 (通知発送数)	受診者数	受診率 (%)	有所見者 実数	個別保健 相談
総数	1,450	1,357	93.6	226	684
浅草	845	771	91.2	62	437
台東	605	586	96.8	164	247

(イ) 3～4か月児健康診査結果 (単位：件)

受診者数	有所見者 実数	有所見者 延数	所見内訳(延数)											
			発育	皮膚	頭頸部	顔面 口腔	眼	耳鼻 咽喉	胸部 腹部	鼠径 外陰部	背 部	四 肢	発達 神経	その他
1,357	226	261	24	80	14	2	2	6	24	13	2	58	30	6
指示 内容	精密健診	63	0	1	6	0	0	0	0	0	0	56	0	0
	受診(治療)勧奨	25	0	21	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0
	他機関管理中	92	2	47	3	2	2	4	18	5	2	2	2	3
	経過観察	80	22	11	4	0	0	2	5	6	0	0	28	2
	一時的指導	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

イ 6か月・9か月児健康診査

乳児の発育状況、精神・運動発達の遅れ等精神面、身体面についての健康診査を、生後6～7か月児及び9～10か月の乳児に対し受診票を交付し、都内契約医療機関で実施している。

(ア) 健康診査受診状況 (単位：人)

区分	6か月児			9か月児		
	対象者数	受診者数	受診率 (%)	対象者数	受診者数	受診率 (%)
総数	1,450	1,281	88.3	1,450	1,208	83.3
浅草	845	751	88.9	845	730	86.4
台東	605	530	87.6	605	478	79.1

(イ) 健康診査結果 (単位：人)

区分	受診者数	健診結果内訳 (実数)				保健所への連絡事項内訳 (再掲)			
		問題なし	問題あり	疑い	不明	医療機関で指導	保健所で指導	他機関管理中	その他
6か月児	1,281	1,240	19	22	0	172	5	12	1
9か月児	1,208	1,158	25	25	0	151	1	14	4

(7) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児に対して身体面、精神発達面及び歯科保健状態の診査を実施し、その結果に基づいて適正な指導・相談を行い、幼児の健全な育成を図る。

なお、内科健診は区内医療機関に委託、歯科健診・心理発達・保健・栄養指導は保健所で実施している。

ア 医療機関委託 (内科) (単位：人)

区分	交付数	受診者数	受診率 (%)	健診結果内訳 (重複あり)				
				異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療
総数	1,313	1,204	91.7	1,084	25	89	1	3
浅草	801	750	93.6	688	17	42	0	1
台東	512	454	88.7	396	8	47	1	2

イ 保健所実施 (単位：人)

区分	対象者数	来所者数	受診率 (%)	歯科受診者数	個別相談			心理相談 ※
					保健	栄養	歯科	
総数	1,313	1,222	93.1	1,218	81	208	1,045	379
浅草	801	727	90.8	725	50	121	621	217
台東	512	495	96.7	493	31	87	424	162

※心理相談は、経過観察を含む。

ウ 1歳6か月児の心理相談

(単位：件)

	心理相談受診者数 (実数)※	相談項目総数 (延数)	問題なし	精神発達の問題	ことばの問題	くせの問題	行動性格の問題	社会性の問題	生活習慣の問題	養育者の問題	家庭環境の問題	疾病障害の疑い	その他
	379	601	6	45	280	6	134	27	25	31	22	14	11
結果 内訳	要精密	33	0	6	10	1	4	3	2	2	2	2	1
	要観察	354	0	30	188	2	64	15	14	18	10	8	5
	助言のみ	206	0	9	82	2	66	9	9	11	10	4	4
	特になし	8	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

※経過観察を含む。

(8) 3歳児健康診査

3歳児に対して身体面及び精神発達面の診査・歯科健診を実施し、その結果に基づいて適正な指導・相談を行うことにより幼児の健全な育成を図る。また、保健指導と心理相談も実施し、精密健診の必要がある者については、精密健診受診票を交付している。

健診内容：問診・診察・身体測定・尿検査・歯科健診・歯科指導・栄養相談・保健指導・心理相談・視力検査・聴力検査

ア 3歳児健康診査

(単位：人)

区分	対象者数	内科受診者数	内科受診率(%)	有所見者数	歯科受診者数	歯科受診率(%)	個別相談			心理相談※
							保健	栄養	歯科	
総数	1,301	1,204	92.5	226	1,201	92.3	193	90	993	221
浅草	761	686	90.1	49	685	90.0	117	52	568	131
台東	540	518	95.9	177	516	95.6	76	38	425	90

※心理相談は、経過観察を含む。

イ 3歳児健康診査内科受診結果

(単位：人)

受診者数	有所見者実数	有所見者延数	所見内訳(延数)													尿蛋白陽性
			発育	皮膚	頭面口腔	顔頸部	眼	耳鼻咽喉	胸部腹部	鼠径外陰部	背部四肢	運動	精神	言語	日常生活	
1,204	226	353	14	21	4	90	53	19	12	5	7	17	27	11	73	2
指示内容	精密健診	165	7	1	1	67	37	8	6	2	1	1	2	1	31	2
	受診勧奨	12	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	8	0
	他機関管理中	88	4	18	3	7	7	8	5	2	5	8	10	4	7	0
	経過観察	88	3	1	0	15	8	3	1	1	1	8	14	6	27	0
	一時的指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



ウ 3歳児健康診査心理相談

(単位：人)

	心理相談受診者数 (実数) ※	相談項目総数 (延数)	問題なし	精神発達の問題	ことばの問題	くせの問題	行動性格の問題	社会性の問題	生活習慣の問題	養育者の問題	家庭環境の問題	疾病障害の疑い	その他
		206	381	12	24	79	15	113	27	23	48	13	11
結果内訳	要精密	26	0	5	6	1	4	1	1	3	1	2	2
	要観察	60	0	7	16	0	15	6	2	5	5	3	1
	助言のみ	280	0	12	56	14	94	19	20	40	7	6	12
	特になし	15	12	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1

※経過観察を含む

(9) 母子訪問指導

ア 母子訪問指導

生後28日未満の新生児、妊産婦、乳幼児等を対象に保健師や訪問指導員（助産師）が家庭訪問し、病気の予防、発育、栄養、出産・育児等について適切な指導を行っている。

令和4年度訪問分（単位：人）

区分	総数		訪問実施者内訳			
			保健師訪問分		指導員訪問分	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
妊 婦	22	30	22	30	0	0
産 婦	1,374	1,654	604	884	770	770
新生児（未熟児を除く）	178	204	97	123	81	81
未 熟 児	14	22	14	22	0	0
乳児（新生児・未熟児を除く）	1,465	1,527	680	742	785	785
幼 児	105	126	105	126	0	0
小 学 生 以 上	5	11	5	11	0	0

イ 乳児家庭全戸訪問

従来の母子保健法に基づき「新生児訪問」を実施していたが、児童福祉法改正により「乳児家庭全戸訪問事業」として位置づけられたため、平成23年度から出生届等で把握した全家庭を対象とした「乳児家庭全戸訪問」として実施。

保健師及び訪問指導員（助産師）が、概ね4か月を迎えるまでの乳児のいる全ての家庭を訪問し、母子の健康状態や養育環境を確認するとともに、地域の子育て情報を伝えることにより子育ての孤立化を防ぎ、虐待予防につなげている。

また、訪問終了後、国の子育て応援ギフトを交付している。

対象：令和4年4月1日～令和5年3月31日出生児

令和5年7月31日現在(単位:人)

区分	対象者数	訪問実施済数					訪問未実施数						
		1か月未満	2か月未満	3か月未満	3〜4か月健診前	3〜4か月健診後	合計	転出	長期里帰り	住民票と相違あり	訪問辞退(※)	その他	合計
全体	1,440	152	700	375	95	46	1,368	37	8	0	25	2	72
浅草	836	68	412	227	59	25	791	22	6	0	15	2	45
台東	604	84	288	148	36	21	577	15	2	0	10	0	27

※内7件は、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。

### (10) すこやか育児相談

乳幼児の健やかな成長や保護者の育児不安の軽減、児童虐待の防止・早期発見に繋げるため、また育児力育成を目的とした育児相談や情報交換・親子の交流の場の提供を行う。

#### ア 1～3か月児の育児相談

目的：育児不安や負担が大きくなりがちな時期である1～3か月児の保護者を対象に同じ立場を共有できる仲間づくりを支援するとともに個別相談を実施することで育児不安・負担を軽減し、育児力の向上を図る。

実施内容：月1回ずつ、台東保健所・浅草保健相談センターにて、身長・体重測定、交流のためのグループワーク、育児に関する個別相談を実施する。

#### 事業実績

実施回数(回)	延参加者数(人)
24	238

#### イ 1歳6か月児からの育児相談

目的：心身の発育・発達において重要な時期である1歳6か月から概ね3歳の児と保護者を対象に、個別相談や集団遊びを実施することで保護者の育児不安や負担の軽減を図り、発達の遅れ等の早期発見・対応を行う。

実施内容：月1回ずつ、台東保健所・浅草保健相談センターにて、身長・体重測定、育児に関する個別相談、交流や発育を促すための集団遊びを実施する。

事業実績

実施回数（回）	延参加者数（人）
24	86

ウ 出張育児相談

目的：子育て中の保護者を対象に、身近な地域で育児に関する個別相談を実施し、親子の交流の機会を提供することで育児不安や負担の軽減を図る。

実施内容：区内6か所にて、身長・体重測定、育児に関する個別相談、各種ミニ講座、親子の交流支援を実施する。

事業実績

実施回数（回）	延相談者数（人）
72	727

エ 子育て心理相談

目的：子育てや家族関係に悩む保護者を対象に、専門カウンセラーによる個別相談を行い、精神的な負担感・不安感の軽減を図る。

実施内容：台東保健所・浅草保健相談センターにて個別相談を実施。

事業実績

実施回数（回）	延相談者数（人）
35	92

オ 多胎児の会

目的：多胎児を妊娠または子育て中の保護者等を対象に交流会を実施し、多胎児ならではの育児について共有することで育児不安・負担の軽減を図る。

実施内容：親子遊びや保護者同士の交流支援が主な活動であるため、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでの情報交換を実施。

事業実績

実施回数（回）	延参加組数（組）	延参加人数（人）
2	8	16

カ 外国人親子への通訳派遣

目的：慣れない地域で孤立しがちな外国人の保護者に対し、通訳を派遣して必要なサービス等の情報提供を行うとともに育児に関する不安等の軽減を図る。

事業内容：NPO等の協力を得て通訳を派遣し、個別相談・支援を実施。

事業実績：通訳派遣 2回／年

キ オンライン育児相談

目的：感染症流行時や外出の負担が大きい子育て中の保護者に対し、保健師とオンラインでの対面により育児相談を実施することで育児不安・負担の軽減を図る。

事業内容：事前予約制によるオンラインでの相談を実施。

事業実績

実施回数（回）	延参加組数（組）
5	1

(11) およこサポート・ネットワーク

区、医療機関、地域等の関係機関が連携し、すべての妊産婦や子育て家庭に対して、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うことにより、妊娠、出産や子育ての不安や孤立感等を解消する。

ア 乳児期の保護者等の交流支援

地域の人材を活用して、同じ悩みを持つ者同士の交流や、地域の人々との交流を支援する。

区分	実施回数	参加組数
3～4 か月児健診時の交流支援	48 回	251 組
育児相談時の交流支援	36 回	204 組

\*従事者に対する研修：交流会 1 回(21 名参加) 研修会 1 回(14 名参加)

イ 家庭訪問型子育て支援

育児不安または外出への不安がある子育て世帯に対して、地域の人材等を活用し、訪問による寄り添い支援と親子の遊び場への同行等の支援を行う。

委託団体	対象世帯数	訪問回数
公益社団法人日本助産師会	26 回	91 回

ウ 関係機関とのネットワーク構築

妊娠期から子育て期に利用する地域の医療機関等との連携を強化し、提供された状況を活かした支援策を速やかに展開する仕組みを構築する。

① ネットワーク会議の実施

実施回数	参加医療機関数
1	14

② 関係機関との個別会議

区内中核医療機関（1か所）と6か月に1回実施（年2回）。

エ おやこる一むの運営

妊婦や子育て家庭が気軽に立ち寄ることができる交流の場を常設する。

新規登録者数	延べ利用者数
283人	964人

(12) 発達相談

目的：①発達の遅れ、障害のある児を早期発見し、必要時に専門療育機関を紹介する。

②保護者の不安軽減、受容、親子の愛着形成等の効果を得る。

事業内容：育児相談・乳幼児健診の結果や保護者からの相談等により、精神・運動・言語等に遅れや障害が疑われる児に対し、小児神経科医師の診察、作業療法士による遊びを交えた訓練指導、心理相談員による個別指導、言語聴覚士による個別・集団指導を毎月実施する。

事業実績

区分	医師診察	訓練指導	心理相談	言語相談	集団指導	計
実人員(人)	42	14	37	65	8	166
延相談件数	45	16	42	82	27	212

(13) 母子関係医療費公費負担

台東区では、母子保健上一定の疾病に罹患し入院等による治療にかかる高額な医療費に対し給付を行っている。

ア 養育医療給付

医師が入院養育が必要と認めた未熟児等に対し入院医療に要する費用の給付を行う。

イ 妊娠高血圧症候群等

妊娠により入院医療を必要とする妊娠高血圧症候群等・糖尿病・貧血・産科出血及び心疾患に係る医療に関する給付について、各種医療保険等を適用し、その自己負担額（入院時の食事療養標準負担額を除く）を助成する。

ウ 自立支援医療（育成医療）給付

満18歳未満の方で、身体障害、心臓障害、肝臓障害、その他内臓障害のため指定医療機関において、入院及び通院による医療費の給付を行う。

エ 療育給付

児童福祉法第20条の規定により、骨関節結核及びその他の結核にかかっている18歳未満の方で、指定療育機関での入院に要する費用の給付を行う。

また、その他、療育生活に必要な日用品と学校教育を受けさせるために必要な学用品の給付を行う。

給付区分	対象となる者	申請件数	延給付件数
養育医療	未熟児等	51	120
妊娠高血圧症候群等	妊娠高血圧症候群等	4	4
自立支援医療 (育成医療)	発音・聴覚・歩行障害・ 先天性内臓疾患	5	26
療育医療	結核・骨関節結核	0	0

オ 小児慢性特定疾病（実施主体：東京都）：経由事務

小児慢性特定疾病に罹患している満18歳未満の方で、認定疾患に係る医療費について、各種医療保険等を適用し、その自己負担額を助成する。

また、小児慢性特定疾病医療費助成の認定を受け、在宅で日常生活を営む上で支障がある方に、必要な日常生活用具を給付する。（実施主体：区）

小児慢性特定疾病児日常生活用具給付：0件

小児慢性特定疾病の助成対象となる疾病

区 分	申請件数	区 分	申請件数
慢性心疾患	12	血液疾患	4
膠原病	9	悪性新生物（がん）	19
慢性腎疾患	6	慢性呼吸器疾患	1
内分泌疾患	6	神経・筋疾患	9
糖尿病	5	慢性消化器疾患	9
先天性代謝異常症	5	免疫疾患	1
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	4	皮膚疾患	0
骨系統疾患	5	脈管系疾患	2

#### (14) 特定不妊治療費助成

高額な特定不妊治療（①体外受精及び顕微授精・②先進医療※令和5年1月より開始）費用の一部を助成し、不妊治療にかかる経済的な負担を軽減する。

対 象：「東京都特定不妊治療費助成事業」の承認決定を受けている区民

助成額：①治療1回につき、都助成額を差し引いた額のうち5万円上限

②自己負担額の7割から15万円を除いた額と助成限度額5万円を比較して低い方の額

助成回数：年齢に応じて最大通算6回まで

#### 事業実績

##### ①体外受精及び顕微授精

年 度	30	元	2	3	4
申請件数	260	244	331	422	470
助成件数	260	244	331	422	470

##### ②先進医療（令和5年1月から）

助成実績なし

## 4 女性のトータルヘルスサポート

女性は特有の身体的特徴を有することにより、生涯のライフステージごとにさまざまな健康課題に直面する。これらに対し、適切に自分の健康管理を主体的に行うことができるよう生涯にわたる健康づくりを支援する。

### (1) 女性のための健康相談

目的：女性特有の心身の問題について、女性の婦人科医が相談に応じ、健康の保持・増進を図る。

事業実績

相談内容	相談日	定員	相談者数	実施回数
婦人科	第3木曜日	4名	8人	4回

相談内容（重複あり） (単位：件)

婦人科関係	産科関係	内科関係	その他
10	1	0	0

### (2) 未就学児をもつ女性への健診勧奨

目的：健康診断を受ける機会が少ない子育て中の母親を対象に、区民健診やがん検診を受診勧奨し、自身の健康管理への意識啓発することにより、疾病の予防・早期発見を図る。

実施内容：乳幼児健診や育児相談等の母子保健事業の場で、保護者を対象に保健師によるミニ講座と啓発媒体を配布

事業実績：

	育児相談	3～4か月児健康診査	1歳6か月児健康診査	3歳児健康診査	合計
回数（回）	20	48	27	27	122
参加人数（人）	172	1,356	1,222	1,204	3,954

### (3) ブレスト・アウェアネスの普及

※ブレスト・アウェアネスとは、日頃から乳房の状態を意識する生活習慣のこと。

目的：乳がんは、近年増加しているがんであり、日本人女性の9人に1人がり患している。自分で触って発見できるがんのため、乳がんの正しい知識とブレスト・アウェアネスの普及により乳がんの予防と早期発見を図る。

事業実績

ア ブレスト・アウェアネスの講演会

女性特有の健康に関する講座にて、ブレスト・アウェアネスに関する講座を実施。



講座

実施回数	講師	対象者	参加人数 (人)	会場
2回	保健サービス課 保健師	育児相談来所者	14	育児相談会場
9回	保健サービス課 保健師	健康推進委員 地区連絡会	147	各連絡会会場

合計 11回 161名

イ ブレスト・アウェアネスのリーフレット・カードの配布

- ・ブレスト・アウェアネスのリーフレット：配布枚数：約4,000枚  
乳がん予防月間キャンペーン、女性特有の健康に関する健康講座、女性の健康週間等にて配布。
- ・ブレスト・アウェアネスのカード：配布数：約200枚  
窓口、乳がん予防月間キャンペーン、女性の健康週間等にて配布。

ウ ピンクリボンキャンペーンの実施（乳がん予防月間：10月）

●実施内容

- ・区内循環バスめぐりん全22台に乳がん予防の啓発エンブレムを装着。
- ・めぐりん車内掲示ポスターと同様のものを、区内35か所（区役所、生涯学習センター、台東保健所、浅草保健相談センター、区民事務所、男女平等推進プラザ、児童館、健康増進センター、子ども家庭支援センター、図書館等）に掲示。
- ・区内4か所（区役所、生涯学習センター、台東保健所、浅草保健相談センター）にてパネル・ポスター・乳がんモデルの展示。リーフレット・パンフレットの配布。
- ・各育児相談にてブレスト・アウェアネスのリーフレットなど啓発媒体を配布。
- ・広報での啓発 令和4年10月5日号に掲載。

●会場と時期

台東区役所	} 9月30日（金）～10月31日（月）
生涯学習センター	
台東保健所	
浅草保健相談センター	

(4) 女性特有の健康に関する講座

目的：ライフサイクルの中で、女性特有の身体の変化等について正確な知識を提供することにより、その状態に応じた自己管理能力の向上と健康不安の軽減を図る。

事業実績：11回実施 参加者数161人

#### (5) 女性の健康週間

目的：女性が生涯にわたり、主体的に健康管理ができるよう支援していくために、3月1日から8日の女性の健康週間に合わせて、啓発事業を実施。令和4年度は「女性の年代ごとに気をつけたいこと」をテーマとして実施。

事業実績：区内4か所（台東保健所・区役所・浅草保健相談センター・生涯学習センター）にて、パネル展示と女性の健康に関する資料を配布。  
ホームページ、ツイッター等で啓発。

#### (6) プレコンセプションケアの普及啓発

※プレコンセプションケアとは、将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと。

目的：将来の健やかな妊娠や出産につながるよう、若い世代へ健康に関する知識の普及啓発を図る。

事業実績：窓口、女性の健康週間にチラシの配布。  
ホームページで啓発。  
20～38歳の女性対象の子宮がんチケット送付時に同封。  
(約14,600枚)

#### (7) 更年期についての啓発

目的：更年期を迎えた方が健康的な生活を送れるよう、更年期についての知識の普及啓発を図る。

事業実績：窓口、女性の健康週間にチラシの配布。  
ホームページで啓発。  
40歳以上の女性対象の子宮がん・乳がんチケット送付時に同封。

## 5 保健指導

### (1) 保健師の活動

保健師の活動の対象は個人・家族、疾病の有無にとどまらず、集団・地域も対象としている。健康な生活を送るため、個々の区民へ働きかけるだけでなく、地域全体へ働きかけ、地域の力を高めることにより、健康な地域をつくることを目指している。そのために、「ひとりひとりが主体的に健康づくりに取り組むことができるようになる＝（自助）」「個人や地域が一体となって支えあい、地域の健康問題を解決する力を持てるようになる＝（共助）」を区民の方々が地域の中で実践できるように働きかけている。

また、「自助の活動」を「地域を対象とした活動」へひろげ、「その活動を区全体のシステムやサービスに活かし、計画づくり等に反映させる取り組み＝（公助）」を行っている。

#### ア 自助の活動

保健師は、区民が自分の健康を知り維持向上させる行動ができるように支援をしている。主な活動は、各地域の担当保健師として個々の区民に対して行う家庭訪問や面接・電話相談等の個別援助活動と、必要な対象者別に行う健康学習や各種相談事業である。特に、社会的に支援の必要な精神障害者や育児不安の強い保護者に対して、関係機関と連携しながら当事者の力を引出し、問題解決を図れるように援助している。また、健康学習は保健師が主催して行うものだけでなく、地域のグループ（幼稚園、学校、町会、老人クラブ等）から依頼を受けて行うこともある。

#### (ア) 各種相談事業

相談日を設定し、各種の相談（育児相談・子育て心理相談・こころの健康相談・女性のための健康相談等）を実施している。

（実績等は、P 134, 135, 140 参照）

## (イ) 個別援助活動

## a 家庭訪問、所内相談、電話相談、文書等連絡、関係機関連絡

区民からの相談を随時受けている。継続相談や他機関との連携を行うなど、相談者に対して総合的なマネージメントを実施している。

(単位：件)

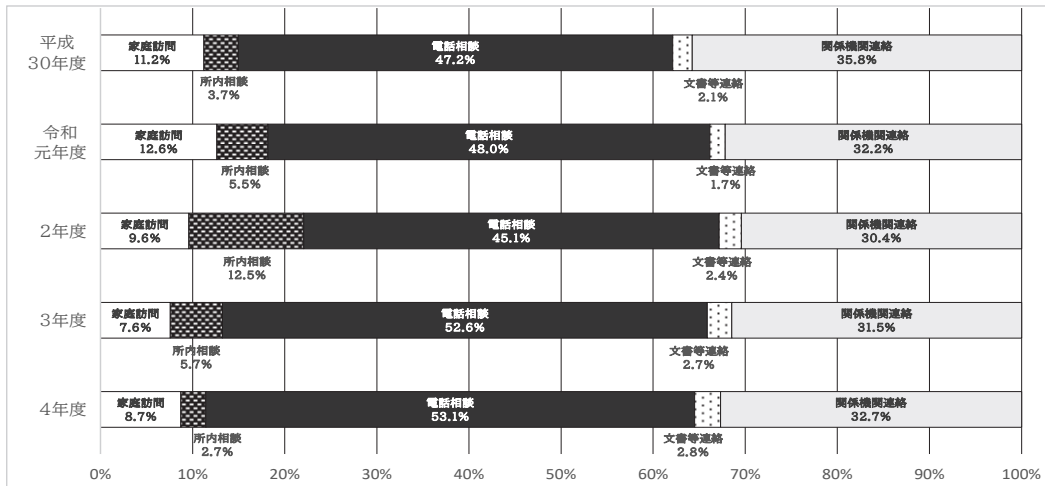
区分	総数	感染症・エイズ	結核予防	精神保健福祉	心身障害	長期療養児	成人（生活習慣病）	その他疾病（難病等）	妊産婦	乳児	幼児	その他	
家庭訪問	総数	2,603	8	246	506	17	1	1	24	791	871	126	12
	保健予防課	396	8	246	130	0	0	0	11	0	0	0	1
	保健サービス課（小計）	2,207	0	0	376	17	1	1	13	791	871	126	11
	台東	1,150	0	0	214	9	0	1	8	434	425	52	7
	浅草	1,057	0	0	162	8	1	0	5	357	446	74	4
所内相談	総数	899	9	134	417	1	2	6	21	106	120	78	5
	保健予防課	216	9	134	53	0	0	0	19	0	0	0	1
	保健サービス課（小計）	683	0	0	364	1	2	6	2	106	120	78	4
	台東	380	0	0	199	1	0	5	2	65	64	43	1
	浅草	303	0	0	165	0	2	1	0	41	56	35	3
電話相談	総数	33,373	19,003	419	3,202	31	19	18	94	4,381	4,139	2,008	59
	保健予防課	19,944	19,003	419	429	8	1	1	76	0	1	0	6
	保健サービス課（小計）	13,429	0	0	2,773	23	18	17	18	4,381	4,138	2,008	53
	台東	5,890	0	0	1,298	15	3	10	15	1,929	1,814	790	16
	浅草	7,539	0	0	1,475	8	15	7	3	2,452	2,324	1,218	37
文書等連絡	総数	1,309	20	526	188	7	3	0	20	95	63	383	4
	保健予防課	595	20	526	25	2	2	0	20	0	0	0	0
	保健サービス課（小計）	714	0	0	163	5	1	0	0	95	63	383	4
	台東	197	0	0	31	3	0	0	0	29	4	130	0
	浅草	517	0	0	132	2	1	0	0	66	59	253	4
関係機関連絡	総数	29,356	19,719	353	3,545	169	69	39	283	1,941	2,121	991	126
	保健予防課	21,090	19,719	352	717	26	12	0	245	1	0	0	18
	保健サービス課（小計）	8,266	0	1	2,828	143	57	39	38	1,940	2,121	991	108
	台東	3,646	0	0	1,271	96	45	38	34	880	836	386	60
	浅草	4,620	0	1	1,557	47	12	1	4	1,060	1,285	605	48
合計	67,540	38,759	1,678	7,858	225	94	64	442	7,314	7,314	3,586	206	

b 個別支援活動年次推移

(単位：件)

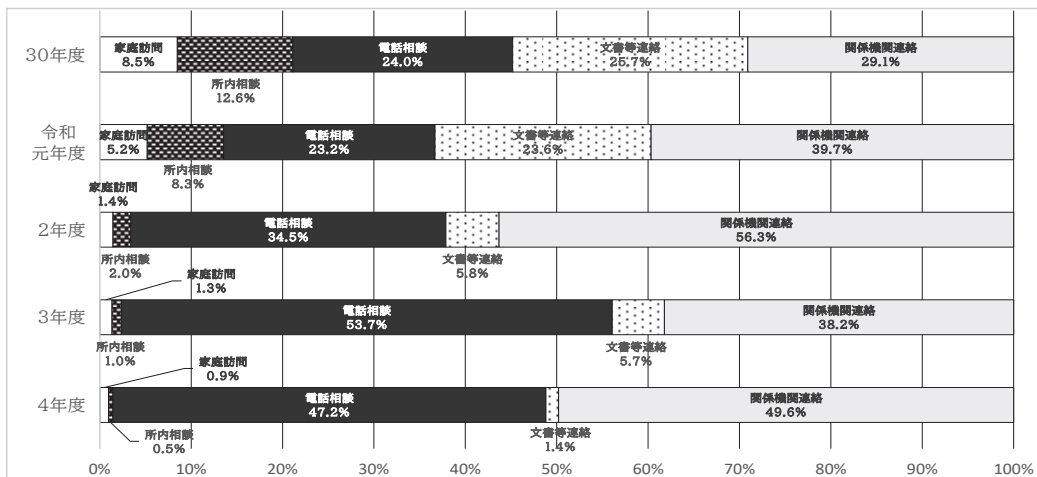
【保健サービス課】

	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
家庭訪問	2,459	2,800	2,091	2,015	2,207
所内相談	820	1,230	2,728	1,513	683
電話相談	10,349	10,656	9,844	14,033	13,429
文書等連絡	464	367	532	707	714
関係機関連絡	7,843	7,139	6,640	8,386	8,266
総数	21,935	22,192	21,835	26,654	25,299



【保健予防課】

	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
家庭訪問	683	460	320	422	396
所内相談	1,017	739	433	325	216
電話相談	1,934	2,052	7,632	16,815	19,944
文書等連絡	2,070	2,093	1,287	1,789	595
関係機関連絡	2,341	3,515	12,465	11,972	21,090
総数	8,045	8,859	22,137	31,323	42,241



## イ 共助の活動

保健師は、共通のニーズをもった区民のグループづくりやそれらの自主的な取り組みをサポートしている。そして、これら地域の社会資源をつなぎ合わせネットワークを構築することで、地域全体の健康づくりへと広げている。

### (ア) 具体的な援助

#### a 健康づくり啓発推進(健康推進委員活動)

健康推進委員は、各地区町会連合会単位の11地区ごとに、地域の特性を活かした健康づくり活動を行っている。保健師は、それぞれ各地区を担当し健康推進委員が行う地区連絡会の開催、健康学習会の企画・実施、地域行事への参加等、地区単位の活動を支援している。また、これらの健康づくりが区全体の動きとなるよう、11地区合同の交流会や各地区代表によるリーダー一会も支援している。(実績等は、P124を参照)

#### b いきいき健康まつり

地域の健康づくりと共助の力を伸ばす働きかけを行うことによって、健康づくりに関して地域全体が関心を持ち合える地域づくりを目指すきっかけとして「いきいき健康まつり」と「地域座談会」を実施している。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、令和4年度はいきいき健康まつりを中止している。(実績等は、P125を参照)

#### c 多胎児の会

双子・三つ子といった複数の子どもを同時に育てる保護者の不安や育児負担は大きく、また妊娠・育児について情報も少ない。そのため、同じ立場にある保護者同士が情報交換や相談し合い安心して子育てができることを目的と交流会を行っている。(実績等は、P135を参照)

#### d 乳児期の保護者等の交流支援

地域の人材を活用して、同じ悩みを持つ者同士の交流や、地域の人々との交流を支援する。(実績等は、P136を参照)

### (イ) 関係機関会議への関与

保健師は、区内外の各種関係機関会議に参加している。

台東区要保護児童ネットワーク会議、地域包括支援センター連絡会、次世代育成推進会議・協議会、医療機関との連絡会 等 年214回出席

## ウ 公助の活動

保健師は、自助・共助でつかんだ区民の意見を基盤整備やサービスを作るときの参考になるように、各種計画づくり会議等に参画し、自助や共助を推進していけるよう活動している。

## 6 栄養指導

平成17年に「食育基本法」が施行され、それぞれの年代にあった食育がすすめられている。しかし、「令和元年国民健康・栄養調査報告」（※令和2・3年度国民健康・栄養調査実施なし）によると、成人男性の33.0%、女性の22.3%が肥満であり、この10年間でみると、女性では有意な増減はみられないが、男性では平成25年から令和元年の間に有意に増加している。一方、20代女性の20.7%がやせであった。

糖尿病や高血圧症、脂質異常症等の生活習慣病を予防することは、区民の健康保持増進に不可欠であり、それには子供のころからの食生活改善が大切である。そこで、関係機関と連携を図りながら、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを組み合わせた効果的な指導体制を構築するよう努めている。

### (1) 食育の推進

食育基本法に基づく区の食育推進計画に沿って、区民が生涯にわたって食を通じた健康づくりを実践し、健康で豊かな生活が送れるよう、食育キャンペーンの実施、食育啓発リーフレットの発行及び関係機関における食育推進会議を開催し、食育を効果的に推進する。

#### ア 食育キャンペーン（食育月間展示）

展示期間：令和4年6月1日（水）から6月30日（木）

展示場所：台東保健所1階展示コーナー、生涯学習センターアトリウム、  
中央図書館、浅草保健相談センター、区役所地下食堂

展示内容：パネル展示、食育関連書籍の紹介、リーフレット配布等

#### イ 食育キャンペーン（食育イベント）

実施日：令和4年10月10日（月）

場 所：台東区リバーサイドスポーツセンター  
（スポーツの祭典2022会場）

内 容：食育SATシステムによる食事診断および栄養相談、パネル展示、  
リーフレット配布等

#### ウ 食育啓発リーフレット「生活習慣病予防」発行

配布先：社会保険加入者（40～75歳未満）に健康診断案内送付時同封

#### エ 食育推進会議 年1回

実施日：令和4年9月2日（金）

### (2) 母子栄養指導

少食・偏食・体重増加不良など、乳幼児の食生活に関する悩みを持つ母親は多く、相談も増加傾向にある。

そこで、3～4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診などの定期健診時に集団指導や個別相談を実施すると共に、離乳食講習会や幼児食講習会、親子クッキングなどの乳幼児対象の講習会、地域の育児サークル等からの依頼による講習会等を行っている。令和4年度は新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止した講習会等については、代替として動画を台東区公式チャンネルで配信し、ホームページの掲載内容を充実させた。また、電話・来所、育児相談会場において助言・指導を行っている。

事業名	個別指導(人)	集団指導	
		回数	人数
乳幼児健診	285	—	—
離乳食講習会等	—	18	171
電話・来所相談等	504	—	—
合計	789	18	171

### (3) 成人栄養指導

食事や運動などの生活習慣を改善し、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病を予防するために、予約制の個別栄養相談や講習会を実施している。成人向けの講習会は、自主活動グループや町会等からの依頼によるものが主である。また、若い女性のやせ等の栄養問題については、啓発用リーフレットを作成し、普及啓発に努めている。

事業名	個別指導(人)	集団指導	
		回数	人数
個別栄養相談	87	—	—
成人向け講習会	—	7	92
電話・来所相談等	382	—	—
合計	469	7	92

### (4) たいとう栄養士会

地域の食育活動の担い手として活動できる在宅栄養士等を育成し、地域のニーズに沿った食育活動を推進している。

平成25年7月に立ち上げ、平成27年4月に「たいとう栄養士会」として、正式に発足した。令和5年3月31日現在、会員数は17名である。主な活動内容は、区民向け講座の開催、各種イベントへの参加、介護予防事業に係る会議への参加等である。



## (5) 特定給食施設指導

健康増進法に基づき定められた特定給食施設及びその他の給食施設において、喫食者に栄養効果の十分な給食が提供できるよう、栄養士・調理師等給食従事者に対し、栄養や食品衛生に関する知識と技術の向上を図っている。

### ア 特定給食施設数

(単位：施設)

	総数	特定給食施設	その他の施設
学 校	28	28	0
病 院	9	5	4
介護老人保健施設	2	2	0
老人福祉施設	10	4	6
児童福祉施設	56	15	41
社会福祉施設	4	1	3
事業所	20	10	10
寄宿舎	0	0	0
矯正施設	0	0	0
自衛隊	0	0	0
一般給食センター	1	1	0
その他	16	3	13
合 計	146	69	77

### イ 指導件数（延数）

栄養管理について個々の施設の状況に合わせ個別指導を行うとともに、講習会等の集団指導を実施している。

区 分		施設数
栄養管理指導	個別指導	196
	集団指導	32
合 計		228

### ウ 電子メールによる栄養情報配信

給食施設に対し、栄養管理や衛生に関する情報を迅速に提供するために、電子メールで定期的に配信している。

配信施設数	77施設
配信回数	20回／年

## エ 栄養管理講習会・研修会

### 栄養管理講習会

開催日時：令和5年2月8日（水）

テーマ・講師：給食施設の事故防止対策～こんなところに落とし穴～

元食品衛生監視員 小野内 由紀 氏

## （6）栄養表示基準に関する指導

平成27年4月に施行された食品表示法に基づき、食品関連事業者に対し、栄養成分表示について、また、平成28年4月から、健康増進法第65条に基づく虚偽誇大広告に関する勧告・命令の権限が区に移譲されたことに伴い、適切な表示がされるよう指導している。また、平成29年度から、生活衛生課食品衛生監視員と連携して監視指導を実施している。

個別指導延件数：57件

## （7）国民健康・栄養調査

厚生労働省が健康増進法に基づき国民の食物摂取、栄養素等摂取状況等の実態を把握すると同時に、栄養と健康との関連を明らかにし、広く健康増進対策等に必要の基礎資料を得ることを目的に実施するものである。

内容は、身体状況、栄養摂取状況、生活習慣状況からなる。

令和4年度は、調査地区には該当しなかった。

## 7 歯科保健

歯と口の健康を維持することは、単に食物を咀嚼するというだけでなく、食事や会話を楽しむ等、豊かな人生を送るための基礎となるものである。

歯の喪失は、食生活や社会生活に支障を来し、ひいては全身の健康にも影響を与える。

また、歯周病とタバコ・糖尿病・全身疾患との関係も注目されている。

そこで、乳幼児から高齢者まで、生涯にわたる「歯と口腔の健康づくり」をすすめるため、次のような歯科保健事業を実施している。

母子歯科保健	成人・高齢者・ 障害者歯科保健	普及啓発・相談
ハローベビー学級 妊産婦歯科健診 1歳6か月児・2歳児・3歳児歯 科健診 歯科衛生相談	歯科衛生相談 歯科基本健診	健康学習 健康まつり 歯と口の健康週間行事 8020・9020達成者表彰

### (1) 母子歯科保健

#### ア 妊産婦

妊産婦は、むし歯や歯周病等により患しやすいので、歯の衛生には特に注意が必要である。そこで、ハローベビー学級で「妊娠中の歯の健康」についての啓発と、区内の2歯科医師会に委託して妊婦歯科健康診査を実施している。

また、産婦に対し、歯科健診と歯科保健指導を実施している。

#### (ア) 妊婦歯科健康診査

(単位：人)

受診者数	むし歯の ある者	むし歯の ない者	処置 完了者	未処置歯 のある者	歯周病の ある者
644	586	58	384	202	169

#### (イ) 産婦歯科健康診査

(単位：人)

区分	実施回数 (回)	受診者数	むし歯の ある者	むし歯の ない者	処置 完了者	未処置歯 のある者	歯周病の ある者
総数	10	94	82	12	59	23	5
台東	5	42	38	4	24	14	5
浅草	5	52	44	8	35	9	0

イ 乳幼児

(ア) 1歳6か月児歯科健康診査

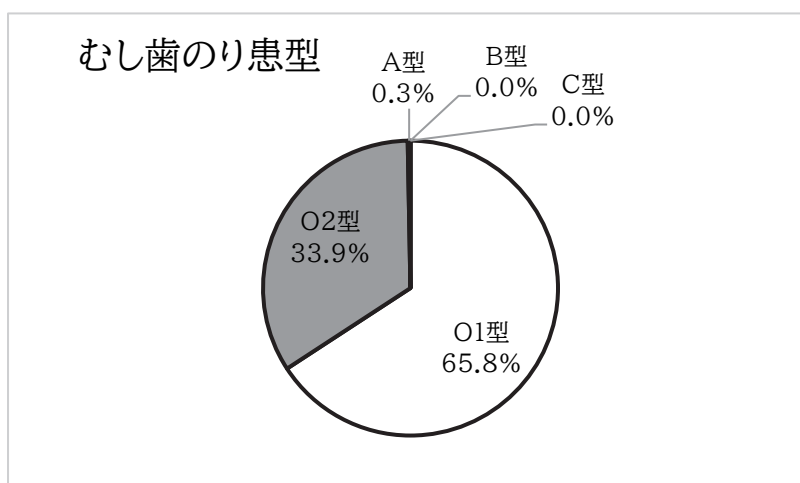
1歳6か月児健康診査の一環として歯科健康診査と歯科保健指導を実施している。

(単位：人)

区分	対象者数	実施人員	受診率 (%)	むし歯のない者			むし歯のある者					処置歯のある者	鍍銀歯のある者
				O1型	O2型	総数	A型	B型	C型	総数	%		
総数	1,313	1,218	92.8	802	413	1,215	3	0	0	3	0.3	0	0
台東	511	493	96.5	329	162	491	2	0	0	2	0.4	0	0
浅草	802	725	90.4	473	251	724	1	0	0	1	0.1	0	0

(単位：歯)

区分	その他異常のある者			現在歯数	むし歯の総数	1人平均むし歯数	処置歯の総数	未処置歯の総数	鍍銀歯の総数
	不正咬合	口腔軟組織疾患	その他						
総数	141	76	95	17,702	7	0.01	0	7	0
台東	56	42	42	7,143	3	0.01	0	3	0
浅草	85	34	53	10,559	4	0.01	0	4	0



(イ) 2歳児歯科健康診査

希望者に対し、歯科健康診査と歯科保健指導を実施している。

(単位：人)

区分	実施回数 (回)	実施人員	むし歯のない者			むし歯のある者			
			O1型	O2型	総数	A型	B型	C型	総数
総数	12	122	103	19	122	0	0	0	0
台東	6	68	58	10	68	0	0	0	0
浅草	6	54	45	9	54	0	0	0	0

(ウ) 3歳児歯科健康診査

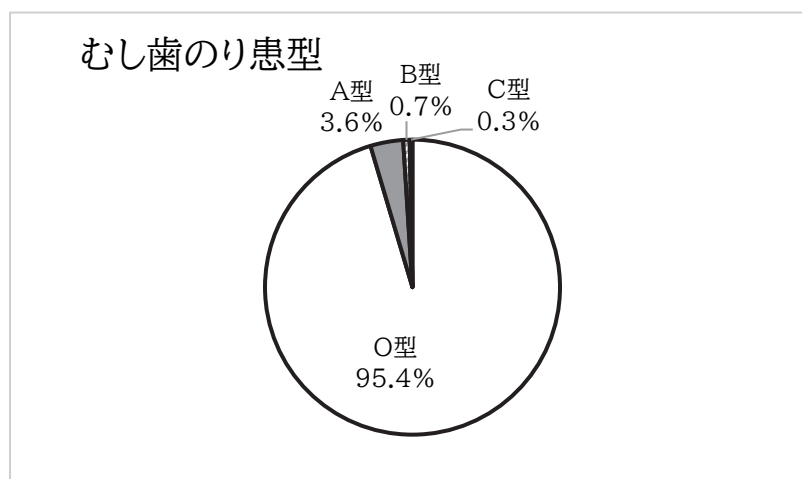
3歳児健康診査の一環として歯科健康診査と歯科保健指導を実施している。

(単位：人)

区分	対象者数	実施人員	受診率 (%)	むし歯のない者	むし歯のある者					処置歯のある者	鍍銀歯のある者
					A型	B型	C型	総数	%		
総数	1,301	1,201	92.3	1,146	43	8	4	55	4.6	6	3
台東	540	516	95.6	491	21	3	1	25	4.8	4	1
浅草	761	685	90.0	655	22	5	3	30	4.4	2	2

(単位：歯)

区分	その他異常のある者			現在歯数	むし歯の総数	1人平均むし歯数	処置歯の総数	未処置歯の総数	鍍銀歯の総数
	不正咬合	口腔軟組織	その他						
総数	209	19	107	23,757	157	0.1	16	141	14
台東	77	3	40	10,230	72	0.1	14	58	2
浅草	132	16	67	13,527	85	0.1	2	83	12



注 (ア)～(ウ)の用語説明

- O型 むし歯がない者
- O1型 むし歯がなく、かつ口腔環境がよいと認められる者
- O2型 むし歯はないが、口腔環境が良好でなく、近い将来においてむし歯り患の不安のある者
- A型 上の前歯のみ、または奥歯のみにむし歯のある者
- B型 上の前歯と奥歯にむし歯のある者
- C型 下の前歯やその他にむし歯のある者
- 鍍銀歯 フッ化ジアンミン銀塗布歯

(エ) その他

8か月児の保護者に対し、「赤ちゃんの歯とお口の健康情報」を送付し、初めての歯みがきのポイントや教室案内を行い、普及啓発に努めている。

また、歯科衛生相談で歯科健診・相談・歯みがき指導等を実施している。

(2) 歯科衛生相談

生涯を通じた歯と口腔の健康づくりをめざして、乳幼児から高齢者までを対象に、歯科衛生相談日を設け、歯科健康診査、保健指導、歯の健康教室及び予防処置を実施している。

ア 歯科健康診査及び保健指導

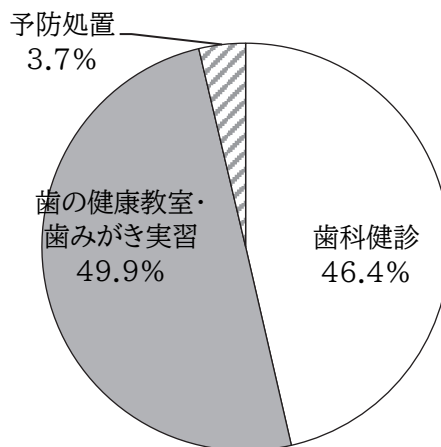
(単位:人)

区分	受診者 総数	妊産婦	乳幼児	その他						開設 回数
				40歳未満		40歳以上		計		
総数	総数	310 (35)	6	266	18 (17)	20 (18)	38 (35)	49(3)		
	初診	186 (2)	6	175	2 (1)	3 (1)	5 (2)			
	再来	124 (33)	0	91	16 (16)	17 (17)	33 (33)			
台東	総数	191 (25)	3	162	18 (17)	8 (8)	26 (25)	25(2)		
	初診	109 (1)	3	104	2 (1)	0 (0)	2 (1)			
	再来	82 (24)	0	58	16 (16)	8 (8)	24 (24)			
浅草	総数	119 (10)	3	104	0 (0)	12 (10)	12 (10)	24(1)		
	初診	77 (1)	3	71	0 (0)	3 (1)	3 (1)			
	再来	42 (9)	0	33	0 (0)	9 (9)	9 (9)			

\* ( ) 障害者を再掲

イ 歯の健康教室・歯みがき実習

区分	受講者数 (人)	開設回数 (回)
総数	334	82
台東	155	43
浅草	179	39



ウ 予防処置(4歳未満の希望者)

区分	実施数 (人)	フッ素塗布		歯口清掃 件	歯石除去 件	開設回数 (回)
		件	歯			
総数	25	25	374	0	0	15
台東	15	15	201	0	0	9
浅草	10	10	173	0	0	6

### (3) 普及啓発

#### ア 健康学習、健康相談

歯と口腔の健康を保つための健康学習会や健康相談等を実施し、好ましい生活習慣が実践できるよう、普及啓発を図っている。令和4年度は新型コロナウイルス感染症防止対策のため、健康まつりは実施しなかった。

(単位：人)

区 分	実施回数	母子	成人・高齢者・障害者
個別相談	114	67	47
健康学習	39	617	43
健康まつり	-		-

#### イ 歯と口の健康週間行事

区内2歯科医師会に委託して「歯の無料健康相談」を2会場で実施している。

(単位：人)

区 分	総 数	台東区歯科医師会館	浅草公会堂
参加人数	174	89	85

#### ウ 8020・9020達成者表彰

(単位：人)

区 分	8020 表彰者数	9020 表彰者数	8020 認定者数	9020 認定者数
人 数	111	13	29	1

※9020 達成者表彰は 28 年度から実施

#### \*用語説明

8020 達成者：80 歳以上で自分の歯が 20 本以上ある健康な者

9020 達成者：90 歳以上で自分の歯が 20 本以上ある健康な者

表彰者：審査の結果、4 年度に初めて 8020 達成者、9020 達成者として表彰された者

認定者：過年度において 8020 達成者または 9020 達成者として表彰されており、審査の結果 4 年度も自分の歯が 20 本以上あると認められた者

#### (4) 成人歯科保健

##### ア 歯科基本健康診査

歯の喪失を予防し、高齢期における健康を維持するため、区内の2歯科医師会に委託して歯科基本健康診査を実施している。30歳、35歳、40歳～55歳、60歳、65歳、70歳は歯周病に重点をおいた診査項目、75歳、80歳、85歳は口腔機能に重点をおいた診査項目で健診を実施している。

年度 区分	30	元	2	3	4
対象者(人)	70,347	70,887	71,451	72,048	73,030
受診者(人)	6,475	6,065	6,056	6,662	6,721
受診率(%)	9.2	8.6	8.5	9.2	9.2

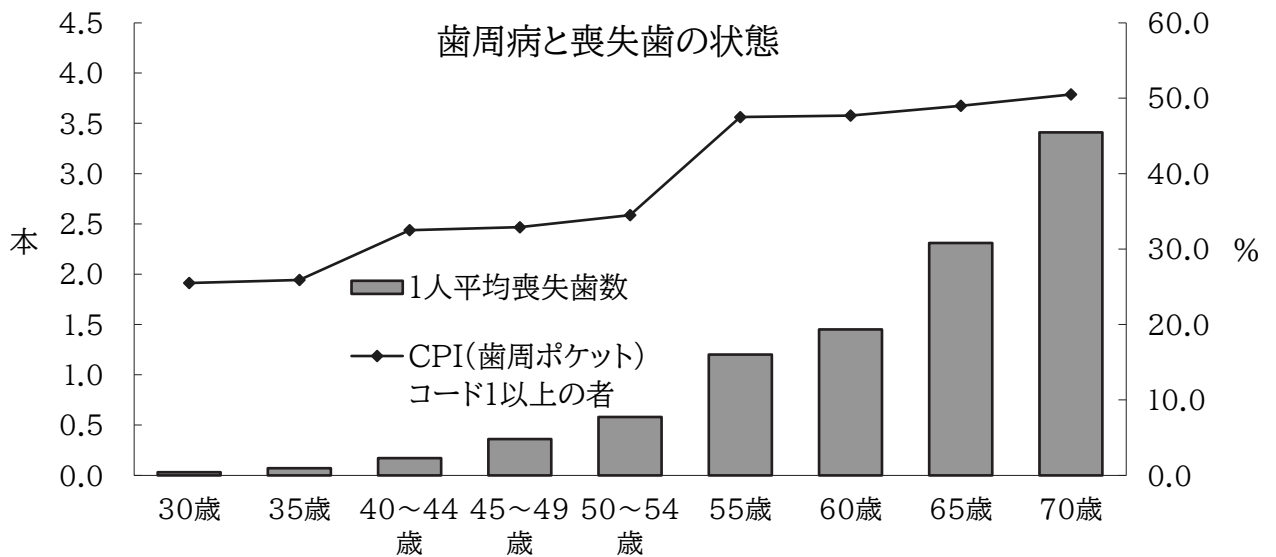
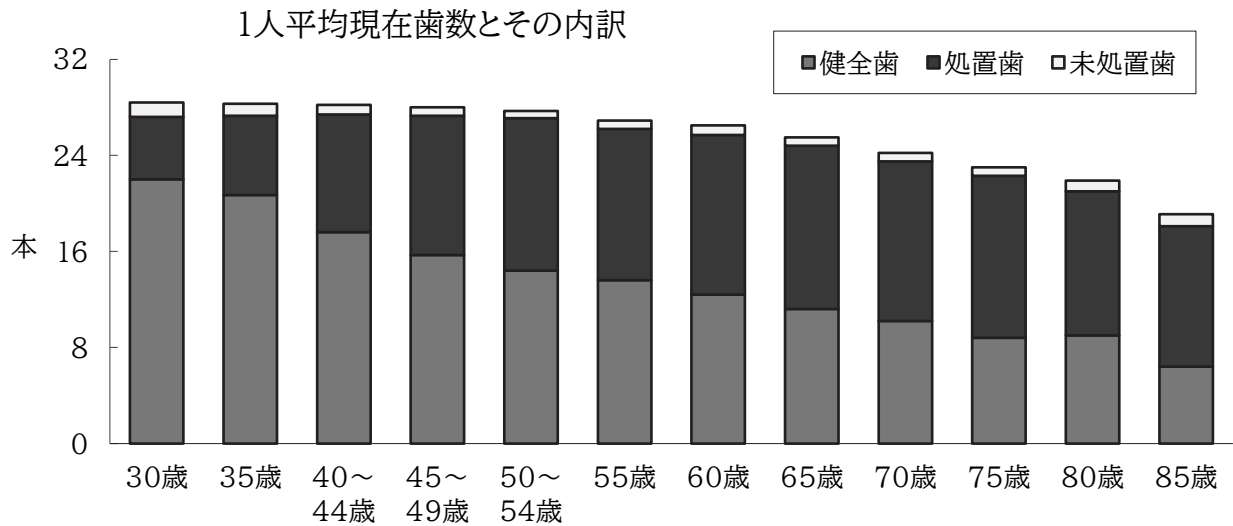
(単位：人)

受診者 内訳	30歳	35歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳	総数	受診率 (%)
男性	203	179	510	441	465	101	103	117	151	199	119	79	2,667	7.0
女性	259	218	785	747	823	164	197	183	174	231	162	111	4,054	11.6
総数	462	397	1,295	1,188	1,288	265	300	300	325	430	281	190	6,721	9.2
受診率 (%)	12.6	12.3	7.8	6.9	7.4	8.6	12.9	15.7	16.6	15.9	16.1	14.5	9.2	

(単位：本)

1人 平均 歯数	30歳	35歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳
健全歯	22.0	20.7	17.6	15.7	14.4	13.6	12.4	11.2	10.2	8.8	9.0	6.4
処置歯	5.2	6.6	9.8	11.6	12.7	12.6	13.3	13.6	13.3	13.5	12.0	11.7
未処置歯	1.2	1.0	0.8	0.7	0.6	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	0.9	1.0
現在歯	28.5	28.3	28.2	28.0	27.7	26.9	26.5	25.6	24.2	23.1	21.7	19.1





※CPI (歯周ポケット) コード 1 以上：歯周ポケット 4mm 以上あり歯周病が進行している。  
 ※75 歳、80 歳、85 歳にはC P I 診査未実施。

#### イ 歯科基本健康診査フォローアップ

歯科基本健康診査受診者で、「要指導」及び歯科医師が必要と認めた者に対し、ニュースレターを送付し、受診者が自ら自分の歯の健康の保持及び歯の喪失の予防を図ることができるよう支援する。高齢期の健康の保持増進のため、口腔機能の低下が認められる者には、口腔機能向上に関する教室の情報提供を行っている。

ニュースレター送付者数 1, 907人

## 8 健康増進センター事業

### (1)健康増進センター運営

生涯にわたる健康づくりを推進し、区民の自主的な健康づくりを支援するため、医師、保健師及び栄養士による健康度測定を行い身体状況に応じた運動プログラムを提供し、あわせて運動、保健及び栄養等専門スタッフの指導のもとに、トレーニング機器等を使用した総合的な健康づくりの実践を図っている。

利用対象：区内在住・在勤の18歳以上の方

#### ア 年度別利用者数

##### (ア)上野健康増進センター

(単位：人)

年 度	30	元	2	3	4
トレーニング室等使用者	24,845	22,079	5,126	7,083	591
健康度測定受診	62	58	0	0	0

##### (イ)千束健康増進センター

(単位：人)

年 度	30	元	2	3	4
トレーニング室等使用者	10,735	8,997	3,261	6,604	14,404
健康度測定受診	15	19	0	0	1

(2)千束・上野健康増進センター 利用の流れ

